



R.I. 第 2630 地区 **高山中央ロータリークラブ**  
**WEEKLY REPORT**

2008 ~ 2009 年度 高山中央 RC 会長テーマ 「ひとつの心で」

会長 三枝 祥一 幹事 足立 常孝 会報委員長 津田 久嗣 会報担当 長瀬 栄二郎

創立 1991 年 5 月 20 日

事務局 高山市花岡町 1-15 丸越商事 4F

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

例会日 毎週月曜日 PM12:30 ~

ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

< 出席報告 >

|              | 会員数  | 出席会員 | 出席   | Make-up | 出席率    |
|--------------|------|------|------|---------|--------|
| 本日<br>781 回  | 46 名 | 42 名 | 39 名 | -       | 92.86% |
| 前々回<br>779 回 | 48 名 | 42 名 | 29 名 | 11 名    | 95.24% |

< 点 鐘 > 会長 三枝 祥一

< ソング > 奉仕の理想

< 本日のビジター & ゲスト >

高山市子ども会育成連絡協議会

副会長 太田 登 様

< 会長の時間 > 会長 三枝 祥一

干支について

干支とは、十干(じっかん)と十二支を組み合わせたもので、十干とは、甲(きのえ)・乙(きのと)・丙(ひのえ)・丁(ひのと)……などと呼ばれた 10 の要素と十二支 子・丑・寅・卯・辰……の 10 と 12 の最小公倍数は 60 ですので、干支は 60 期で 1 周することになります。

日本以外での干支とは、中国、台湾、韓国、チベット、タイ、ベトナム、モンゴル、ロシア、ペラルーシ、インド、ブルガニア、アラビア地方などがあり、日本での猪は、他の国では豚になります。

変わったところでは、日本での卯は、うさぎですが、ベトナム、タイ、チベットでは猫になっています。又ベトナムでは日本での丑は水牛と呼ばれています。又、アラビア地方では、辰はワニに、ブルガニアでは寅が猫に変わっています。



いつ頃生まれた話かは不明であるが、十二支の動物に関する逸話がある。そのいきさつとしては次の 2 通りの逸話がある。

・お釈迦様のもとに新年の挨拶に来た順番に動物を割り当

てた。

・十二支の動物を指定日に挨拶に来た順番に決定する、というお釈迦様の招集により集まった。

そして次のような結果がもたらされたと言われる。

・牛は足が遅いので早めに行ったものの、一番乗りしたのは牛の背中に乗っていた鼠だった。

・鶏が猿と犬の間になったのは仲の悪い両者を仲裁していたため。

・鼠は猫に挨拶に行く日を尋ねられた際に嘘をつき、実際よりも 1 日遅い日を教えたため、猫は十二支に入ることができなかった。それを根に持った猫は鼠を追いかけるようになった。

・猫は鼠の嘘を信じて一日遅れて挨拶に行ったため、お釈迦様から「今まで寝ていたのか。顔を洗って出直して来い。」と言われ、それからよく顔を洗うようになった。

・13 番目であったために十二支に入れなかったイタチをかわいそうに思ったお釈迦様は、毎月の最初の日を「ついたち」と呼ぶことにした。ただし実際の「ついたち」の語源はこの逸話からではない。また、13 番目の動物はカエルやシカという説もあります。

< 幹事報告 > 幹事 足立 常孝

R I 本部より

・ロータリー・アン誌

国際ロータリー第 2630 地区ガバナーより

・ロータリーカード推進のお願い

・クラブ定款・細則改訂について

・R I 承認「ロータリー神戸国際囲碁大会」開催のお知らせ

日時：3 月 7 日 ~ 8 日

会場：神戸ポートピアホテル

国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より

・ロータリーレート変更のお知らせ

1 月 1 日から 1 ドル = 88 円

ロータリー米山記念奨学会より

・特別寄付の御礼

- ・ハイライトよねやま 106号  
高山ロータリークラブより
- ・例会変更のお知らせ  
1月29日(木) 休会 定款第5条第1節により

#### <高山ライオンズクラブより>

- ・結成50周年記念誌

#### <飛騨高山国際協会より>

- ・シビウ国際演劇祭 国際ボランティアスタッフの募集  
のお願い

#### <土野守高山市長より>

- ・高山市人権講演会の開催のご案内  
日時：2月5日(木) 13:30～15:30  
会場：高山市民文化会館 小ホール

### <本日のプログラム>

#### 会報委員会 津田委員長

こんにちは、本日は会報委員会の担当の例会となっておりますので、宜しくお願い致します。

本日の講師の先生は、太田登さんをお願い致しました。太田さんは昨年度、全国子供会連合会・子供会KYT指導者育成講習会を終了されておられます。KYTについては、土木建設関係の方々には安全チェックということで取り組まれていることも多いかと思いますが、これを子供会に採用したものであります。

子供さんを見ていくうえで、大変参考になるかと思しますので、太田先生宜しくお願い致します。



### <子ども会 KYTとは>

#### 高山市子供会育成連絡協議会

#### 副会長 太田 登 様

「KY」昨年「空気が読めない」「漢字が読めない」と色々な事がありました。ここでは「危険予知」を意味しておりますが、危険というものに対して、子供会の活動、地域の子供達と取り組む活動の中で、どのように対応していくと良いのか、取り入れられたのが、このKY危険予知です。

「安全」とは何か？と聞くと、安全に対する言葉は何かと言われます。安全に対する反対語は「危険」です。ただ「危険」と言う前に、何がどう「危険」なのかを考えると、事故に遭わないという事ではないでしょうか。

事故が起きたとき、具体的にどうすれば良いのか？安全確保はどうすれば良いのか？これが「KY」の考え方です。

この考えが、子供会や地域の子供達と取り組む活動に際して、重要となります。

そもそも、危険な場所はそんなに多くありません。危険があるとすれば、なぜ危険なのか、危険予知をすることになります。危険を察して、それに対応する何を考えておけばいいのか、そういった事が危険予知という考え方ではないかと思っております。



子供との活動では、何が起こるか分かりません。一番多いのは、大人の考えで、こんなところでそんな事をするはずはないといった思い込みから、事故が起きています。子供の目線というのは、皆さんのお座りになられているその目の高さです。私は立っていて、皆様の上から見ています。そうすると、これは立体的になりますから、何ともないと感じますが、目線が一緒になると、今度は見えません。同じ高さで見ていかないと、やはり危険というものは感じられない。そして、周りの者が一緒になって、その危険に対する安全管理を考えないと、活動に支障が出て、最後には過失の度合いも変わってきます。

一番多いのは、手を出さない大人に限って、何かあった時、あなたが悪いと必ず言うてきます。普段は出てこないのに、何か事故があると一番先頭に立って口を出してくる親が多いのです。保育園状態で見ている大人が半分はいます。預けておいて、馬鹿げた事を言う大人も最近是非常に多いと感じられます。

一つの大きな事故の裏側には、ヒヤッとする経験や危なかった経験が30個ほどあります。そしてその前に、ヒヤッとした事が300あるのです。300回ヒヤッとすれば、一回は事故が起きるという考え方があります。

作業現場の方の話では、ヒヤッとする300回のうち、29回は軽い事故が起きるそうです。そして、そのうち一回は事故になり、危険です。ですから、何をするか、そこで考えますと、楽しそうな遊びの中にも、改善した方が良く、何かあった方が良くということが、必ずあると思えます。

当たり前で良いのですが、活動の中で、危険と思われる事を共有する事が一番大事だと思います。いま、声を出して皆さんに伝えるという事は、ここにみえる皆さんは、言われた事をそれぞれが共有したわけです。共有すれば当然、どうすればいいか、どうすればそれを安全へ導く方法をとれるかが出てくると思います。ほとんどの子供会でも、大人は「安全だ」と思い込んでいる。思い込みによって、すでに危険を生じている。

安全情報や安全状況を確認されましたか？皆さんに伝

達されましたか？という事を指導者や引率者が共有しない限り、安全は担保できません。

子供でも大人でも、楽しい遊びというのは危険な遊びという事です。どんな遊びでも、ちょっと危険な遊びの方が楽しいでしょう？

例えば子供ですと、高い所に上がったたりして、そういった事の方が楽しいわけです。その時に、落ちない方法を皆さんは考えているから、もっと楽しい訳です。

こういった野外活動においても室内活動においても、落ちない方法や笑って済ませられる方法を考えましょう。

私自身もここにくるまでに、果たして自分がこういった活動を出来たのか、そんな風に考えながらもう一度見直しました。

やはり活動をしていくにあたっては、まずは現地を確認する。そしてこの活動が一人の計画であって、皆に共有できる活動状況であるのか、という事と、旅行保険やボランティア保険を必ず掛けて、危険を少しでも回避するという事をやっていかないと、活動自体が萎縮してしまうし、せっかくやって頂いた活動がおざなりになってしまいます。

数年前に、実際に子供会活動中での事故があり、お子さんが亡くなりました。それは、下見をしたけども実際の場所と違っていたという事で、すでにそこでリスクを負ってしまったという事になります。

ですから、私達にしても皆さんにしても、子供会活動の中で一番大事なのは、指導者の方に必ず下見をして頂くという事です。そして、危険情報や安全情報を必ず皆で共有して頂きたいと思います。そしてもう一つは、必ずリスクを回避する意味でも、保険には入って頂きたい。ボランティア保険の中には、障害保険もあり、中には賠償責任に対する賠償責任保険というものもあります。そんなに高額な

ものでもありませんので、是非そうしたものを付け加えてリスクを縮めて頂きたいと思います。

それから、私達が一番に取り組んでいますのが、活動中に大人は絶対に飲酒を避けるという事。最初の頃はお酒を飲みながらでしたが、終わってから打ち上げをすればいいわけですから、子供達の前で活動中に飲酒をするのはやめよう、という事になりました。

高山市中を歩きながら指導をする際にも、飲酒は必ず避けるよう指導しています。

それは、飲酒運転でもそうです。事故に遭った時の一切の責任に対して、反論が出来ません。こういった活動を通じながら、私達は子供会活動をしており、地域の皆さんにそのようなお願いをしております。

子供会活動の中でも、危険の中でも、子供達と目を合わせて挨拶をして下さい。そういった事で、子供と近づいて頂きたい。

いま、高山市中に、見守り部隊、スクールサポーターといったものを作り、活動していますが、この考え方が危険予知です。何かあったら怖い、という考え方から、連れ去り防止の活動もやっており、そうした中で挨拶をしながら地域の子供達と顔を合わせることが大切です。そのお陰で、子供に顔を覚えてもらえますし、どこかで会った時にも覚えて頂ける、顔見知りになっていく事が一つのきっかけかと思えます。

このような活動をしながら、KYTを進めておりますが、皆様の会社の中でも、人と人の中での活動や、また、子供さんとの関わり合いを持たれる中で、このようなKYTを進めて頂ければ、より楽しい活動が出来るのではないかと思います。

<ニコニコBOX>

太田様 卓話よろしくお願ひ致します。また、近い日の入会を期待しております。 **理事役員一同**

今年はいじめでの通常例会です。任期半年を切りました。残り半分、よろしくお付き合いお願ひ致します。

**三枝 祥一**

今日の講師 太田登様を歓迎いたします。緊張しないで、いつものように楽しくお話して頂ければと思います。

**山本 辰男・今井 俊治**

新年例会は欠席しましたので、今年初のロータリーです。皆さん、新年明けましておめでとうございます。私は今年、還暦の厄年です。厄年とは、人の役に立つ年だと解釈しておりますので、皆様の御役に立てる様、顔晴ります。今年もどうぞよろしくお願ひ致します。

**島 良明**

新年 明けましておめでとうございます。新年例会は、風邪でダウンしてしまい出席できませんでした。今年も

会員の皆様方に仕事・健康に幸あること・楽しいクラブを祈って・・・今年もよろしくお願ひします。

**平林 英一**

新年例会を欠席して申し訳ありませんでした。新年を迎え、皆様方には本年もよろしくお願ひ致します。

**伊藤 正隆**

本日、早退させていただきます。

**岡崎 壮男**

本日の講師の太田さんいつもの調子で気楽に話して下さい。先日葬儀で、神奈川県藤沢市まで行って来ました。会葬者 17 人という少人数の葬儀でしたが、藤沢市の夜の街はとても雰囲気良かったです。 **松之木 映一**

先日の新年例会では、たくさんのニコニコありがとうございました。今年も一年よろしくお願ひ致します。

**ニコニコ委員長 新宮 一郎**